

YMCA運動の基底にある社会奉仕活動

大阪YMCAの社会奉仕活動を支えるもの

- ☞ クリスマス献金
 - ミャンマースタディーツアー助成金
 - 香港学生YMCA研修受け入れ諸経費
 - 聴覚障がい青少年国際キャンプ助成金
 - スリランカプロジェクト助成金
- ☞ チャリティーラン
 - 奨学金支給
 - 奨励金支給

- ☞ チャリティーゴルフ
 - 阿南高校生マリニャンプ支援
- ☞ ユースリーダー安全基金
 - ユースリーダー養成支援
- ☞ 奈良伝記念基金
 - アジア太平洋アドバンスコース研修補助
 - ミャンマースタディーツアー研修補助
 - 世界YMCA大会参加費補助

大阪YMCAには10を越える活動拠点があります。そのひとつひとつで様々な社会奉仕活動が行われています。それらの社会奉仕活動は公益性が基本となります。私たちの周りにはいろんな年齢、職業、考え方の人たちが共に生活をするコミュニティがあります。YMCAは様々な課題をコミュニティと共に解決するために支援しています。これらの活動拠点にはボランティアを中心とした運営委員会が組織され、地域で求められる課題に対して調査し、企画し、実施する働きが一年をとおしてなされています。大阪YMCAではそのようなボランティアが1600名、共にYMCAの社会奉仕活動を支えています。

ボランティア活動は時として金銭的なものから無関係なものとして考えられることがあります。しかし、コストがかからない活動は無いと言っていいでしょう。協力を依頼するための広報活動、事業を行うための備品費、移動するための交通費などすべてにわたってコストが発生します。それらの活動をコスト面で支えているのが年末に行われるクリスマス献金や、年2回行われるチャリティーゴルフ、毎年多くの参加者とボランティアが集うチャリティーランなどです。これらの支援金が大阪YMCAでおこなわれている社会奉仕活動を支えています。

支える人が広がっていくことにより、社会奉仕活動も広がっていきます。そのネットワークを広げていくことこそ公益性を強めていくことであり、YMCAの願いなのです。(統括本部総務部 向谷 章)

第13回チャリティーラン2007

日程 11月23日(祝・金)
会場 吹田市万博記念公園

チャリティーランは参加費で障がいのある子どもたちのプログラムを支援することと同時に、障がいのある人とない人が共に走るにより、「障がい」に対する理解が深まることを目的とした駅伝大会です。

タレントのチャック・ウィルソン氏の提唱を受けて、東京の在日大使館や外資系企業で構成するボランティア委員会と日本YMCA同盟国際賛助会が1987年に始め、全国各地のYMCAでも行われています。

今年で13回目を迎える大阪YMCAチャリティーランはボランティアによって運営されています。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。
※詳細は10月号でお知らせいたします。



ご寄附 大阪ワイズメンズクラブより、日米親善中学生バスケットボール交流に金1万円、聴覚障がい青少年国際キャンプに金100万円、ポロシャツ及び用品のご寄附をいただきました。感謝を持ってご報告させていただきます。

当日、心細く、不安で、どうしたらいいのかささく戸惑っているときに、ボランティアで参加されていた大阪YMCA国際専門学校の学生の方が私に声をかけてくれました。たくさん話をすることで、国際専門学校が福祉とスポーツについて学ぶことができ、ボランティア活動も活発であること


7月16日(海の日)に第10回障がい児者および家族ボウリング大会が行われました。小学生の頃、地域の話し話教室に通い始めたことから福祉の世界に興味をもち、ずっと介護士になることを夢見ていました。そして去年の夏、進学先を考えたときに本当に福祉の道が自分に合っているかの答えを出したくて、受験生ではありましたが、ボランティア活動を始めました。その最初の活動が今年のこのボウリング大会でした。

高校生の時、たまたまボウリング大会のボランティア募集チラシを目にし、思い切って参加したこの大会から、人との輪が広がり、一つの人生を選択し、私自身も大きく変わることができたと感じています。これからももっと輪を広げられるよういろいろな活動に挑戦していきたいと思えます。本当に素晴らしい機会を与えて頂きありがとうございます。来年もよろしく願い致します。

(大阪YMCA国際専門学校 一年生 中居香織)

大阪YMCA創立125周年記念事業—子どもゆめ基金 『わいわいフェスティバル ~歌声でつながろう! 地域と世代~』

10月14日(日) 樟蔭女子大学講堂(東大阪)



東YMCAでは、今年10月14日(日)に創立125周年記念事業『わいわいフェスティバル』歌声でつながろう! 地域と世代』を東大阪市小阪にある樟蔭女子大学講堂で行います。

日本の歌100選に選ばれた歌・キャンブソングや讃美歌を、ウエルネス事業に参加している子どもたち、サンホームを利用されているお年寄り、レインボークラブに参加されているチャレンジの方々と地域住民の方々と一緒に歌うコンサートを企画しています。

このコンサートの趣旨は、歌を共に歌うことで世代間の交流のきっかけとし、地域の中で新しい関係性が繋がるきっかけとなることを願い、さらには安心で愛あふれる地域の形成を目指しています。また125周年記念事業ですので、歌と共に大阪YMCA125年の歴史を映像で振り返ることも考えています。

現在は、コンサートの内容を実行委員会で話し合っています。新たにYMCAと繋がってくださる実行委員の方、また当日出演をしてくださる地域のハンドベル演奏グループ、童謡唱歌の演奏グループ『アンサンブル IZUMI』など、ネットワークが広がってきています。

どうぞ会場に足をお運び下さい。お待ちしております。

(東YMCA 鈴木えみ)

第10回障がい児・者および家族ボウリング大会(北YMCA) ボランティア活動の機会を得たことに感謝

7月16日(海の日)に第10回障がい児者および家族ボウリング大会が行われました。小学生の頃、地域の話し話教室に通い始めたことから福祉の世界に興味をもち、ずっと介護士になることを夢見ていました。そして去年の夏、進学先を考えたときに本当に福祉の道が自分に合っているかの答えを出したくて、受験生ではありましたが、ボランティア活動を始めました。その最初の活動が今年のこのボウリング大会でした。

高校生の時、たまたまボウリング大会のボランティア募集チラシを目にし、思い切って参加したこの大会から、人との輪が広がり、一つの人生を選択し、私自身も大きく変わることができたと感じています。これからももっと輪を広げられるよういろいろな活動に挑戦していきたいと思えます。本当に素晴らしい機会を与えて頂きありがとうございます。来年もよろしく願い致します。

(大阪YMCA国際専門学校 一年生 中居香織)

